

② これらの関節鏡手術を行える専門医はまだ少ない

膝については、現在はほとんどの整形外科医療機関で半月板・靭帯の手術が行われています。しかし、肩・肘・足については、ある程度のトレーニング、経験が必要で、関節専門医の中でもこれらの関節鏡手術を常時行っている医師は多くいません。一方で、行っている医療機関ではこれらの患者が集中するため、春・冬・夏休みに手術希望が集中する傾向があります。当院でも現在随時1～2ヶ月近くの手術予約があります。

スポーツ選手の場合は、これまでの練習成果を示すことになる競技大会スケジュールに影響しないよう、秋の大会が終わり、次シーズンまで時間が取れた時点で早めに専門医との相談を行っておくことが望ましいと思います。

また、当然のことですが関節鏡とはいえ手術はしないに越したことはないと思います。適切なトレーニングや筋腱強化訓練を行ったうえでの選択が当然であり、関節・スポーツ外科医はこのようなディスカッションにも大きな役割を担っています。

当院でも、肩SLAP損傷を発見した野球選手の76%は、4週間の筋腱トレーニング指導とフォーム矯正で疼痛が消失し問題なく競技復帰させることができました。

決して「受診＝手術をすすめる」であってはならない一方、「トレーニングや安静では軽快しないもの」をきちんと診断することが重要です。

障害が発生した選手の指導・治療に関わるものとしては、「3週間の安静ですむか、1年以上のスポーツ中止になってしまうか」の大きな分かれ道を判断してやることは大きな責務であり、手術が必要となった場合は、関節鏡手術のスポーツ選手への貢献価値が大きいと考えています。



当体育センターでは、各学校、部活動等でスポーツ栄養を実践するためのお手伝いをします。
スポーツ栄養の研修会をご希望の方は、下記のところまでお問い合わせください。

お問い合わせ

富山県総合体育センター企画情報係(トレーニング室)

〒939-8252 富山市秋ヶ島183(富山空港横)

TEL 076(429)5455 FAX076(429)4163

ホームページ <http://www.sportsnet.pref.toyama.jp/member/sougou>

Eメール:palace-tra@sportsnet.pref.toyama.jp



(印刷) 有限会社 AT企画印刷